一年学年だより

Ｎｏ．６	１０月号
令和７年１０月１日	
１０５ＨＲ	

一歩ずつ、着実に

９月は運動会、中央祭と高校生活を代表する学校行事が続き、みなさんの笑顔と協力する姿を様々な場面で見ることができました。仲間とともに目標に向かって取り組む姿勢や、準備の過程・本番で得た経験を、今後の学校生活に生かしていってください。

さて、行事が一段落したこの時期は、学習への意識を整える良い機会です。10 月には中間考査、コース選択説明会があります。みなさんは、自分自身の学習・進路について考え、行動することができていますか。今回は、私が日々生活していくうえで意識している、好きな名言を紹介したいと思います。

「Step by step. I can’t see any other way of accomplishing anything.」
（ステップ・バイ・ステップ。何かを達成するには、一歩ずつ着実に進むしか方法はない。）
マイケル・ジョーダン（元 NBA 選手）

この言葉には、ジョーダン自身の経験と信念が込められています。彼は素晴らしい才能を持っていただけでなく、誰よりも努力を惜しまない選手でした。毎朝誰よりも早く練習を始め、試合では常に全力を尽くしていた。そんな彼の「一歩ずつ進むしかない」という言葉は、成功に近道はないということを私たちに教えてくれています。学習も同じです。テストで良い点を取りたい、苦手科目を克服したい、志望校に合格したい――そんな目標を持っている人は多いでしょう。でも、いきなり大きな成果を求めても、うまくいかないことがほとんどです。大切なのは、今日の一歩を大事にすること。そして、それを継続することです。

・昨日よりも１つ多く英単語を覚える
・授業中に１つでも「わかった」「なるほど」と思える瞬間をつくる
・疑問に思ったことをそのままにせず、調べてみる・先生に相談する

日々の小さな積み重ねは、やがて大きな力になります。ジョーダンの言葉にあるように、「これ以外に方法はない」のです。高校生活も半年が経過しました。学校生活に慣れた一方で、部活動は忙しくなり、勉強のレベルも上がっています。授業についていけるか不安になる人もいるでしょう。でも、焦らなくて大丈夫です。一歩ずつ、着実に。その積み重ねが、未来の自分をつくっていきます。

日本にも「塵も積もれば山となる」「継続は力なり」ということわざがありますが、世界の有名人も、日本の先人も、みんな等しく日々の積み重ねの大切さを私たちに伝えてくれています。

小さな積み重ねを大切に、輝いた将来を想像して日々の学校生活を送っていきましょう。

（１０５ＨＲ担任）

★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★

高校生だからすべきこと

高校入学から半年が過ぎ、見た目は立派な高校生になった１年生のみなさん。高校生らしい生活を送ることができていますか。いろいろなことにチャレンジし、汗し、涙し、笑い、悩みながら、大人への階段をのぼること。これが高校生に求められることだと私は思います。

大人と子どもの端境期である高校時代だからこそ、一生懸命チャレンジした結果の失敗は許される時期です。そんなチャレンジをしていますか。失敗を恐れて下を向いたり、あきらめたり、言い訳したり……。10 代中盤の若さをもとに何事にもシンプルに努力をしてほしい。そして、高校卒業の時に、これは３年間頑張ったと胸を張っていえる高校生活を送ってほしいと思っています。高校生活スタートから半年たったこのタイミングでもう一度、自分の進むべき方向をしっかりと見つめ直してみてください。

（１０５ＨＲ副担任）